

# 予算特別委員会

議員 21 名（正副議長、予算の代表質問を行った議員を除く全員）を委員として、審査を行いました。

平成 27 年度一般会計予算、特別会計国民健康保険事業予算及び介護保険事業予算を賛成多数で、その他の特別会計予算については全会一致で可決すべきものと決しました。

また、予算に関連して付託された条例 12 件について、可決すべきものと決しました。



佐藤 寿宏  
委員長

## ◆予算特別委員会委員◆

◎…委員長 ○…副委員長

- ◎佐藤 寿宏 谷山きょう子 古屋 直彦 伊藤 大輔
- 大沢 純一 瀬 順 弘 木原 宏 永元須摩子
- 大石ふみお 門倉 正子 安東 太郎 浅川 修一
- 中町 聡 江口 元気 山本みちよ 大沢 豊
- 若木 早苗 松本あきひろ 高口 靖彦 梅田 春生
- 稲橋ゆみ子

### クレジットカード収納の早期導入を

検討を進めたい

梅田 春生 (民主・市民フォーラム)



**問** 市税の収納事務について見解を伺います。市民がクレジットカードで市税を納付できるようにできないでしょうか。この件については、平成25年度の予算特別委員会でも質問しましたが、平成26年度は何か進捗があったのでしょうか。毎回のようになかなか質問をしていますが、なかなか実行されていません。進める気があるのでしょうか、ないのでしょうか。できるだけ早い時期に導入していただきたい。

**答** クレジットカード収納については、多摩26市のうち4市が既に導入しており、さらに2市が導入予定だと聞いています。本市では、システム改修費が高額になること、導入した他市の事例において、金額や件数の面で、税目ごとの利用実績が1%にも満たないことなどから、これまで導入を見送っている状況です。次期の情報化計画の中で、平成28年度に大きなシステム改修が計画されており、市民サービス向上のため、検討を進めたい。

### 医療と介護の連携強化を

検討していきたい

稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)



**問** 地域福祉コーディネーターの市内6圏域全部への配置を求めましたが、どうなったのでしょうか。医療と介護の連携についても、包括的なケアシステムの充実が進められる組織にするよう、また医療と介護の連携による相談窓口を設置するよう求めてきました。認知症対策では、地域のかかりつけ医と拠点病院の連携により、早期発見から適切なサポートができるよう取り組む必要があると求めています。それぞれの状況を伺います。

**答** 地域福祉コーディネーターは現在配置している3圏域に加え、平成27年度に残りの3圏域にも配置し、全福祉圏域に配置する予定です。医療と介護の連携については、現場では連携に努めています。平成27年度に協議会を設置して検討していきたい。認知症対策については、相談業務でこちらから出ていくアウトリーチの形をとるなどの改善を考えています。医療連携とあわせ、どうすれば市民にとって一番よいのか検討したい。

### 予防接種のスケジュール管理は

具体例を示して説明している

大石 ふみお (民主・市民フォーラム)



**問** 本市で2歳までの子どもが受ける予防接種はどれぐらいあるのでしょうか。集団健診から個別健診になっていくことで予防接種を忘れやすくなっており、子どもが本来予防接種を受けなくてはならないときに受けられないことが多々あると考えられます。市はスケジュール管理を強化すべきではないでしょうか。他の自治体では、予防接種のスケジュールを管理するシステムを導入するなどの動きがあると聞いています。

**答** BCG、4種混合、麻疹風疹、5種類ほどの予防接種があり、数が増えたことで、スケジュール管理が市民にとって難しくなっています。市では、「こどもには赤ちゃん事業」で実施する訪問において、スケジュール表で具体例を示して予防接種の開始について説明したり、乳児健診で説明する等の対応をしています。医療機関においても、小児科医が保護者と相談し、次回接種予定日を決めるなどしています。

### 空き家対策 特別措置法へ取り組みを

進め方を協議する

伊藤 大輔 (民主・市民フォーラム)



**問** 空き家対策の取り組みについて伺います。空き家の問題は防犯や安全上の問題ですが、現状では持ち主特定のために固定資産税などの情報を空き家の問題で共有することはできません。老朽化が進んだ危険な空き家に対しては、建築指導の観点から情報をたどることはできないのでしょうか。また、特別措置法の関係で、市内の情報共有について今後変化があるのでしょうか。庁内連携をとって取り組みを進めていただきたい。

**答** 危険な空き家の問題は所有者が判明しない場合も多く、全てを解決できていない状況です。「空き家対策の推進に関する特別措置法」では、老朽化した危険な空き家を「特定空き家」と定め、その指定の際には、建築の観点が必要となること、また、課税情報も共有することができるとなっていることなどからも、現状の対策を実施している関係部署以外にも、建築や税部門とも連携し、その対策と進め方を協議しています。

### 一番町の少年野球場 夜間の管理は

現場を確認して検討する

古屋 直彦 (たちかわ自民党・安進会)



**問** 一番町の少年野球場について、夜中に人がたまって大声で話す、酒を飲む、たばこを吸うなど、周りの住民に迷惑をかけているとの話があり、以前教育委員会に対応を申し入れました。その後の対応を伺います。また、この野球場を使用している少年野球チームから、3月も使用したい、駐車場がなく相手チームの車が止められないため、近隣の福祉会館の駐車場を土日に借りたい、との要望があります。対応できないでしょうか。

**答** 夜間の管理については、張り紙などの対応をしたほか、警察にも相談し、見回りの強化を依頼しています。もう一度現場を確認し、夜間に簡易的に鎖をつけて入れないようにするなど、対応ができるかどうか検討したい。3月以前の球場使用については、霜の関係で自粛しています。3月に入れば霜が落ち着くこともあるので、その状況なども見て検討したい。福祉会館の駐車場使用については、庁内で協議していきたい。

### 商店街イベントの場所確保に後押しを

ご相談には応じたい

安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)



**問** 市が後援する商店街のイベントのために、どうしても必要な場所として市の施設を使わせてもらいたいと求められた場合、市が行政利用の形で場所を確保することはできないでしょうか。イベント主催者の声は聞きたい。イベントは、商店街の活性化のほか、地域の連携、協働の推進、文化の伝承にも寄与し、また世代間交流の促進にもつながります。見解を。

**答** 商店街の取り組みを応援したいと考えていますが、既に他団体の利用予定が入っていたり、施設のルールに合わない場合などは、緊急避難的な行政使用などの対応も困難です。商店街イベントは、基本的には商店街の売り上げを伸ばすための事業であり、公共性が高いものでも、公共施設の利用にそのまま繋げることは困難な部分があります。ただ、本当にできないことはないかという視点でご相談には応じていきたい。